



日本サーバス本部会報

2021.4 日本サーバス会長 NS

やっと寒さも和らぎ、花々の季節がやってまいりましたが、新型コロナはますます猛威を振るってきています。会員の皆様がたにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

桜の季節は、4年間ケニア生活を経験した私にとってはひとしお、あこがれの季節でした。住んでいたケニアの地域は標高 1700m だったので、年中一日の気温が 15℃～28℃の理想的な気候でした。ただ乾季と雨季が入れ替わるぐらいだったので、過ごしやすかったのですが、慣れてくると、贅沢なもので四季が恋しくなってきました。それで日本に帰ると前以上に桜の美しさに感動しました。

ケニアから三重へ移住して、山々に咲く素晴らしい桜の美しさに毎年心を奪われています。今年の桜を少しご紹介します。



今回の会報は、次の内容でお届けします

- | | |
|---------------------------------|----|
| 1. 日本サーバス前会長退任の挨拶・・・皆様有難うございました | HT |
| 2. 新役員からの挨拶・・・ | NS |
| チームワークで乗り切りたいです | KN |
| 喜びの灯を守るため | MA |
| 皆様のお知恵とご協力を | SS |
| IT 担当になって | HT |
| 国同士の争いがいかにつまらないことか | |
| 3. 本部役員の紹介・・・ | NS |
| 4. 事務局とプロジェクトチーム・・・ | NS |
| 5. 国際サーバス会報より国際サーバス会長の挨拶・・・ | JS |
| 6. あとがきにかえて・・・ | NS |

1. 日本サーバス前会長退任の挨拶

皆様有難うございました

近畿支部 HT

会長職 皆の協力 あな嬉し 無事に終わりと 桜満開

日本サーバスの会長は、関東支部の TK さんが変わりたいとおっしゃりながら、変わろうと言う人が現れず、非常に長い間務めて下さいました。そこに救いの手を差し伸べられたのが九州支部の OT さんでした。その時、O さんは多分また何年かしたら、O さんのように覚悟を決めて会長を変わろうという人が現れるだろうと考えていられたと思います。でも、それは淡い期待に終わり、誰も会長を引き受けようとはしませんでした。そこで考えられたのが、会長、副会長、本部会計を1つの支部から出して、2年毎に変わると言う制度でした。高年齢化が進んでいる近畿支部は「するなら今」と非力も顧みず第一番に名乗りを上げました。



会長になり、何もわからない私は、何でも役員の皆様に相談しました。役員の方々は一つ一つの事柄に真剣に向き合い、私以上に頭も時間も使って一緒に考えて下さいました。幸い、私が努めた2年間は判断に困るような大きな事も起こらず、皆様のご協力を基に何とかサーバスの火を消さずに次の会長にバトンタッチが出来て嬉しい限りです。

会長になると必然的に今までより国際サーバスも視野に入ります。そこでは、多くの国からサーバスを前進させるために、たくさんの方がボランティアで活動されている事、国際サーバスの財政を支援するために寄付をされている国がある事、世界平和を目的に始まったサーバスはホームステイやトラベラーの受け入れ等、個人間のコミュニケーションを通して人々が理解し合って世界平和を目指すのが基本ですが、それに留まらず、平和そのものを目的にした様々な取り組みがなされている事、また、気候変動を食い止める活動もサーバスの重要な課題として提起されている事等など、色んな事に気づきました。

コロナの問題が始まった時、ベルガモの YouTube を聞きながら、人類はこんな大きな試練を乗り越えたら、YouTube で歌われているように、少しは生まれ変わると思っていました。でも、それは全くの幻想でした。そんな時に思い出されるのが、広島での国内会議の後に中国四国支部の方のご案内で訪れた広島の平和公園です。そこには世界中から平和を求める人たちが来られていました。その人たちの平和への想いは、私には第二次世界大戦後の悲惨な中で世界平和をと立ち上がられたサーバスの創始者が重なってイメージされます。数ある国際ホームステイ組織の中で、サーバスは世界平和のために生まれたという創始者の想いを大切に受け継ぎ、会長になって得た新たな気付きもバネに、皆さんと手を取り合ってサーバスの活動を続けていきたいと思っています。

会員の皆様、数々のご協力、本当にありがとうございました。



2. 新役員からの挨拶

チームワークで乗り切りたいです

会長 NS



この度、日本サーバスの会長をお引き受けすることになりました東海北陸支部のNSです。

わたくしは、ケニアに滞在の時期に友人の紹介でサーバス活動に興味を持ち、2013年サーバスに入会しました。サーバス歴が浅く、歴史のある日本サーバスを支えるには大変心配ですが、東海北陸支部での支部長の経験を生かし、その職務に当たりたいと思っています

当面しているコロナ禍において、国際サーバスおよび日本サーバスは、ともにサーバス活動の大きな転換期を迎えようとしています。3月27日に開催した東海北陸支部の支部会議で、この状況の中でも1歩も2歩も前向きに活動を進めている支部会員さんたちにたいへん触発されました。

コロナ禍の中で普及したオンライン利用の Zoom のようなツールが、家に居ながらにして遠く離れた人々との会議や友達のおしゃべりをほとんど無料で行えるという便利で有用なものであることも学びました。便利なものには同時に危険性も潜んでいることをしっかり認識しながら、この時代が生んだポジティブな面を生かし、私なりにできることを役員の皆様、支部の皆様と協力して進めていきたいと思っています。大事なことはサーバスのチームワークを大切にすることだと思います。そのためには皆様のご協力が欠かせません。

役員一同協力し合い、会員のみなさまとともに日本サーバスの目的である「会員同士の交流をつうじて善意、相互理解及び相互の寛容を深め、世界平和の促進に寄与する」ことを心から望んでおります。みなさまどうぞよろしくお願い致します。

喜びの灯を守るため

副会長 KN

もうすぐ、COVID19は終息を迎えると、去年の今頃は思っていました。1年たった今、かえって先が見えません。しかしそんな中でも、サーバスは新しいスタイルで会を運営しています。役員の皆様やIT役員の皆様のお陰でWeb会議にも参加できるようになりました。サーバスに入っていて良かったと思う瞬間です。

そんな私が日本サーバスの副会長をお引き受けすることになりました。サーバスの灯を消さないために、、、と大役をを引き受けられたNS会長を支えなければの一心です。しかし正直、お役に立てるのか？の不安もあります。皆様のご協力を得て、学びつつ前進したいと思います。



昨年(2020.2月)COVIDが騒がれ始めたころ、アメリカからのトラベラーカップルを受け入れました。それ以来サーバスホストは休業です。その間、世界の友人たちから、時には地球の裏側から、メールで消息が伝えられて、心が和みます。サーバスは他では味わえぬ喜びを与えてくれます。この喜びの灯を守るために2年間微力を尽くしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。





これまで本部会計監査役を2年間務め、このたびは、本部会計に就任した MA です。思えば、初代会長の AM さんの時代に、東海北陸支部の支部長を務めて以来のサーバスとのおつきあいですが、キャリアが長いだけで、活動内容の伴わない者ですが、その詳細は2年前の本部会計監査役就任のごあいさつに述べましたので、ここでは省略します。

今回は、同じ支部出身の会長、副会長を支える黒子として、また、財政基盤を今より少しでも強固にできるよう微力を尽くしたいと思いますので、なにとぞ皆様のお知恵とご協力をいただけますよう、伏してお願いすることで就任のごあいさつといたします。

IT 担当になって

IT 副委員長 SS

2年間の会計が終わり、「やった！これで一息…」と思っていたら「ちょっとお願いが…」と IT 担当依頼の電話が掛かってきました。一度はお断りしましたが…。長年サーバスを支えてこられた方に言われると…。

というわけでお引き受けすることになってしまいました。

先日、早速、担当者3人のズーム会議を開いて頂き、いろいろ説明をお聞きしました。

“私にできるかしら”と不安が沸いています。PCはもともと好きな方で、自分のHPに触っているだけなら問題はないと思いますが、皆さんのサーバス IT となるとかなり重責です。

重さに押しつぶされそうですが、決まった以上はやるしかないか・と今は悟りの境地です。YさんやNさんに教えて頂き、皆さんに支えて頂きながら頑張ります。

よろしくをお願いします。



国同士の争いがいかにつまらないことか

会計監査 HT



日本サーバスの会計監査を務めることになりました。サーバスの仕事に関わることは、九州支部を通じてでも初めてのことです。ましてや全国組織のことですので、いささか緊張しています。

私のサーバス歴23年の間に、外国から多くのゲストを迎えて交流を楽しみ、私もそれぞれの地に訪ねて再会を喜び合い、素晴らしい時を過ごしました。旅の途中では、思いがけない出来事や数多くの出会い・触れ合いがあり、忘れ得ない感動も多くありました。

しかし、最近は家族の事情により、それも難しくなりました。サーバス交流で考えさせられたことのひとつが、国同士の争いがいかにつまらないことか、何故解り合えないのかということでした。サーバス活動内容について更に私自身の理解を深めながら、任務に努めたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。

3. 本部役員の紹介

会長 NS

向こう2年間の日本サーバス本部役員が、先月の3月13日の国内会議において以下のように選出されました。

- A 業務 会長： NS（東海北陸支部所属）
副会長： KN（東海北陸支部所属）
会計： MA（東海北陸支部所属）
- B 業務 ホストリスト担当： TM（近畿支部所属）
IT 委員長： YH（関東支部所属）
IT 副委員長： SS（近畿支部所属）
本部 IT 委員： NS（九州支部所属）
- C 業務 会計監査： HT（九州支部所属）
ユース部長： NY（九州支部所属）
ピースセクレタリ： 空席



4. 事務局とプロジェクトチーム

会長 NS

経験不足のわたくしを補助していただくために、新しく事務局と2つのプロジェクトチームを立ち上げました。○はリーダーです。

- (1) **事務局**：文書のチェック、サーバス規約などとの照合、会長の仕事へのアドバイス

- NS(九州支部所属)
OT(九州支部所属)
HT(近畿支部所属)

- (2) **国際部**：国際サーバスからの Motion(議案)や News Bulletin(会報)の翻訳、資料作成、国際会議の準備補助

- OT(九州支部所属)
TK(関東支部所属)
TY(九州支部所属)
UY(中国四国支部所属)
NY(九州支部所属)

- (3) **竹中プロジェクト**：Tさんからの寄付金の有効活用について考える

- HT(近畿支部所属)



MA (東海北陸支部所属)
AK (近畿支部所属)
UY (中国四国支部所属)
TY (九州支部所属)
NY (九州支部所属)

5. 国際サーバス会報より国際サーバス会長の挨拶



Servas International News Bulletin Vol.20 No.1 • 2021

会員のみなさまにはすでに国際本部からの会報 News Bulletin が届いているので目を通していただいた方も多いと思いますが、J会長の冒頭挨拶に強く惹かれましたので記事内容を日本語で紹介します。

Gender Equality について

国際サーバス会長 JS

「ジェンダーの平等」は国際サーバスの主な活動分野の一つである。「ジェンダーの平等」はUN(国連)の sustainable development goals(持続的な発展のための目標 UN SDG s)のうちの一つであり、国際サーバスはそれを積極的に支持する。SIGA2018 (2018年のサーバス国際会議)で「ジェンダーの平等」について次の二つが決定された。

- (1) サーバスの基本理念の一つはさらなる平和な世界を目指すには全人類の平等の権利が必要である、ということである。「この原則は女性が社会のあらゆるレベルでの意思決定に影響を与える力を得ることを支援することが Servas の使命の一部であることを意味します。」
- (2) 国際サーバスはすべての組織のあらゆる段階でジェンダーバランスを積極的に求めることを約束する。

なぜ私が「ジェンダーの平等」が大切だと思うか。

- ・女性と男性が平等だという価値を認める社会がより安全で健全である。
- ・「ジェンダーの平等」は社会の経済的繁栄に欠かせない。
- ・「ジェンダーの平等」の意識は女性や少女に対する暴力を減らす。
- ・「ジェンダーの平等」は国連の人権宣言にも謳ってある人間の権利である。

にもかかわらず、世界のほとんどの社会では男女の同権を進める歩みは遅々としている。国際女性デーが始まってから 110 年もたっているというというのに。



国際サーバスの会長JS氏(右端)と前ボードメンバーがお皿を洗っているコミカルなGender Equalityを示唆する写真です。

*News Bulletin の記事は従来のように国際部の協力を得て今後の会報で簡単に要約を紹介したり、今回のように特筆した記事を取り上げたりしていく予定です。

6. あとがきにかえて

会長 NS

国際サーバス会長のJさんは3月13日のオンライン国内会議にスウェーデンから参加していただき、”**Servas doesn't cancel. Servas adjusts.**” というメッセージで「世界はコロナ禍において、大変苦悩しているが、新しいツールでサーバスは新しい道を模索している。新しい方策を各国にMotion（議案）で提示するので議論してほしい。また次の国際会議は2021年の予定だったが2022年に延期になる。開催国や方法は未定である。」ということを報告いただきました。



2019年度から新体制に代わり、真っ先にA業務を担当されたH会長はじめ、本部役員の皆様がた本当にお疲れさまでした。特に新型コロナ後は旅行もできなくなり、受け入れもなくなり、会議はZoomでのオンライン会議となりました。国内会議も急遽オンラインで行うことになり、役員の皆様方の準備の様子を目の当たりにして、特に超人的なエネルギーで皆をリードされたH会長、そして一丸となって協力された役員の皆様のチームワークは大変素晴らしいものでした。国内会議もM議長の采配でスムーズに議事が進み、見事に短時間で終了することができました。次の私たちもそれに見習って、日本サーバスのバトンを受け継げたらと思っています。

これから、今国際サーバスから各国サーバスに対して出されているモーション（議案）に対する日本サーバスの意思表示（賛成・反対・棄権）を5月末締切の遠隔投票（世界76ヶ国参加）で行わなければなりません。また、その投票結果（国際サーバスの決定）に伴って発生する日本サーバス本部会計の見通しも立てなければなりません。課題は山積みですが、皆さんとともに協力して、乗り越えていけたらと思っています。どうかご協力をよろしくお願いします。 以上